

プロジェクト名	学部改組検討プロジェクト
趣旨	<p>学生の受け入れは大学の教育・経営に直結する課題であり、大学は高度な教育研究と人材育成を通して社会に寄与するという責務を果たさねばならない。これらを踏まえ、時代や環境の変化を見据えながら、総合大学として多彩な教員がより良き教育に力を注ぎ、教育全体が活性化するよう、改組を含めて本学の在りようを検討していく。</p>
概要	<p>本学では、2000年以降、社会の環境変化や受験生の進路動向等をとらえ、継続的に学部(学科・専攻)の設置や改組を進めてきた。しかし、それに甘んずることなく、一方で社会のニーズや受験生の進路希望を考慮に入れるとともに、大学の本質を見据えつつ学部編成の在り方を追い求めていかねばならない。また、18歳人口がさらに減っていくこと、高大接続改革が進められていくことを視野にいれる必要もある。学部改組を実施する場合、調査から企画・学内調整・届出まで約3年かかることから、本プロジェクトでは、中長期的な視点に立脚しつつ、計画の策定に取り組んでいく。</p>
基盤となる NEXT10施策	<b>【分野/推進事項番号/施策番号】 施 策</b>
	<p>【学生の受け入れ3-①】高校生の志望動向や社会的ニーズを見据えた長期的な(10年前後)既存分野での学部改組計画の検討</p> <hr/> <p>【学生の受け入れ3-②】本学にない新分野の検討</p>